

2016 年度事業報告

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

① 地域開発及び地域自立支援に係る事業

(1)環境教育と地域住民主体の環境保全活動を通じた地域コミュニティの強化

(2)カトマンズの住民によるバグマティ川の汚染防止を通じた生活環境改善

■ 事業概要

ネパールの首都カトマンズを流れるバグマティ川は、近年の急激な人口増加に伴う大量のごみ投棄や排水の垂れ流しにより極端に汚染されています。行政だけに頼っては解決できない問題に目を向け、バグマティ川再生のために、カトマンズの住民たち自ら「何をすべきか」を考え、継続した行動変化が地域に生まれることを目的にしています。小中学校の環境教育から取り組みを始め、地域へと環境保全活動が広がっていくよう、2012 年 6 月より 5 年間の予定で事業を開始しました。(現地カウンターパート：SOMNEED Nepal)

■ **実施期間**：2016 年 4 月～2017 年 3 月（継続中）

■ **実施場所**：ネパール連邦民主共和国カトマンズ郡ゴカルネショール市・カトマンズ市

■ **受益対象者の範囲および人数**：カトマンズ市内の市民 1805 人

■ 活動内容・成果・課題

2016 年度は以下の活動を実施しました。これら活動を通じて、ゴミの分別、地域での清掃活動など、住民が自分たちでできることを始めた事例が見られました。

◇自分たちでできる環境保全活動を促す、エコレンジャーの活動開始

8 回のトレーナー育成研修を修了した地域住民 40 人が、「エコレンジャー」として、自分の住む地域や周辺地域の住民へ「家庭でできるゴミ分別・減量の方法」を伝える研修を実施しました。

≪トヨタ自動車株式会社「トヨタ環境活動助成プログラム」≫

◇ムラのみライの研修に参加した先生たちのその後の活動

環境教育担当の先生を対象にした研修（2012 年度～13 年度）に参加した学校の、研修後の活動について聞き取りを 21 校に対しておこないました。オリジナルの環境教育を実施した事例、学校内でのゴミ分別を継続している事例や、環境をテーマにしたイベントを実施した例が見られました。また、ゴミ分別研修を受けた住民による活動や、学校と連携して環境教育の授業を行った事例が見られました。

≪JICA「草の根技術協力事業パートナー型」≫



◇親子で学ぶ、地域の環境

5校の6～8年生の生徒、担当教員、保護者を主な対象に、バグマティ川を観察する「川の課外授業」、学校や家の周りの環境を知る「グリーンマップづくり」を実施しました。

≪（公財）りそなアジア・オセアニア財団「環境事業環境プロジェクト助成」≫

◇分散型排水処理施設（DEWATS）の建設

バグマティ川に流れ込む家庭排水（150～200世帯分）を浄化するための分散型排水処理施設（DEWATS）1基の建設を開始。建設と並行して、施設を維持・管理し、環境保全に向けた行動を起こすのは自分自身であることへの理解を促す研修を行っています。

≪外務省「日本 NGO 連携無償資金協力」≫

◇子ども×アート×プラスチックごみ

3校の生徒たちが家庭のごみの分別回収と減量に取り組みました。この過程で集められたプラスチックごみを素材に、アーティスト・渡辺あしな氏の協力のもと、アート作品「プラスチックごみモンスター『妖怪"華"』」を制作。12月に展示会をおこないました。

≪独立行政法人環境再生保全機構「地球環境基金助成事業」≫



➤ 従事者の人数：8人

➤ 事業費の金額（単位：千円）28,928